

①第三者評価機関名

株式会社 ブルーライン

2025年9月17日

②事業者情報

名称： 総合療育センターひまわり学園 児童発達支援センター	種別： 児童発達支援
代表者氏名： 施設長 伴野 松原（つぼみ） 今井（めぶき） 野口（わかば）	定員（利用人数）： 100（117）名
〒 〒 331-0052 所在地： 埼玉県さいたま市西区三橋6丁目1587番	Tel 048-622-1704

③総評

◇特に評価の高い点 （１）【地域の福祉向上の為の取組】 西区地域協議会で地域課題を共有すると共に、お互いの事業所の見学会を実施する等の取組を実施しています。中核施設として市内児童発達支援センター間の連絡会議により療育体制の強化に取り組んでいます。 （２）【サービスの開始・変更時の説明】 サービスの開始・変更に当たっては、しおりや重要事項説明書により丁寧に説明を行い、納得が得られたら捺印する事で利用開始・変更としています。しおりは絵や表を用いて理解しやすい様、配慮しています。意思決定が困難な利用者に付いては、画一的なルールを設けるのではなく個別支援計画により対応しています。 （３）【アセスメント/個別支援計画】 児童発達支援管理者が個別支援計画の管理者となっており、アセスメント様式に従いアセスメントが行われています。この段階で課題が認められた場合は関係職員が参加してケースカンファレンスが開催されます。又、個別支援計画が出来上がった段階でも同様のカンファレンスを開催する場合があります。個別支援計画の支援方法に付いて、半年に１回は評価・見直しが行われ、支援困難ケースへの対応に付き個別に策定され提供されています。 （４）【利用者を尊重したサービス提供】 「健康・生活」「感覚・運動」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域にわたって成長を促す為の支援プログラムを策定し、これに基づく個別支援計画を保護者と共有して作成する事で利用者を尊重したサービス提供を行っています。標準的実施方法としてキャリアラダー(キャリアアップして行く仕組)が採用されており、職員の研修にも供されています。人権擁護に関して、年１回虐待チェックリストにより振り返りが行われています。
◇特にコメントを要する点 （１）【中期計画を踏まえた年度事業計画】 市の総合振興計画実施計画（2021～2025）において策定された当施設としての重点課題が年度の事業計画には織り込まれていません。事業計画の内容はほぼ毎年同じ文言の繰り返しとなっています。又、事業報告は計画を受けての実施内容の報告とはなっておらず、実施状況の評価は実施されていません。 （２）【プライバシー保護】 プライバシー・個人情報の定義に関しては理解されていますが、プライバシー保護に関する規定・マニュアル等は整備されていません。依って、規程・マニュアル等に基づいたプライバシーに配慮した福祉サービスは実施されていません。又、プライバシー保護に関して保護者に説明する等の取り組みは行われていません。 （３）【情報公開】 ホームページに理念・基本方針は表明されており、施設の存在意義や役割を明示していますが、事業計画・事業報告・予算・決算情報等は公開されていません。苦情・相談の体制や内容に付いては、入口に配置されたファイルにて公表していますが、対応状況等は公開されていません。又、地域へ向けて理念や基本方針・事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等は配布していません。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回初めて第三者評価を受審したことにより、客観的な気付きを得ることができました。地域連携やサービス提供内容に高い評価をいただいたことは大きな自信につながります。一方、事業計画や情報公開に課題があることを痛感しました。指摘事項を改善し、安心してご利用いただける施設を目指します。

⑤各評価項目にかかる第三者評価結果
別紙